

	<p>○研究責任者 呼吸器内科医師 志垣涼太</p> <p>■共同研究機関 4：がん研有明病院(検体集積)</p> <p>○研究責任者 呼吸器センター 医長 内堀健</p> <p>■共同研究機関 5：弘前大学医学部附属病院 (検体集積)</p> <p>○研究責任者 呼吸器内科学講座 助教 坂本博昭</p> <p>■共同研究機関 6：岩手医科大学附属病院 (検体集積)</p> <p>○研究責任者 呼吸器内科学講座 助教 菅井万優</p>
<p>研究の意義、目的</p>	<p>KRAS G12C 変異をもつ非小細胞肺癌に対しては、新しい分子標的薬が開発され、治療効果が期待されています。</p> <p>しかし、すべての患者さんに同じ効果が得られるわけではなく、治療が効きにくい場合もあります。</p> <p>この研究では、過去に治療を受けた患者さんの病理検体を用いて、分子標的薬治療によって腫瘍の免疫環境がどのように変化するかを調べます。</p> <p>これにより、治療効果を予測できる指標（バイオマーカー）を見つけ、将来の個別化治療につなげることを目的としています。</p>
<p>研究の方法</p>	<p>既に診断や治療の際に採取された検体（余った未染スライド）を使用します。新たに検査や採血を行うことはありません。病理検体に含まれる免疫関連分子（PD-L1、CD8、MHC Class I など）を免疫染色で評価し、治療効果や経過と比較して解析します。</p>
<p>その他</p>	
<p>お問い合わせ先</p>	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 旭川医科大学 呼吸器内科 〒078-8510 北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号 事務担当 西本千穂美</p>

電話番号 0166-69-3290

研究責任者：

旭川医科大学 内科学講座（呼吸器・脳神経内科学分野） 佐々木 高明
准教授